

千葉県福祉サービス第三者評価結果報告書

◎評価機関

名 称	特定非営利活動法人NPO共生	
所在地	〒275-0001 千葉県習志野市東習志野3-11-15	
電話番号	047-473-0711	
評価実施期間	2021年10月～2022年1月	
評価調査員	経営担当	鶴岡 義明 (P1212005)
	福祉担当	松本 悟 (T1611007)
	福祉担当	西村 豊 (P1212004)
	事務局	関口 恒

◎評価対象事業者

事業所番号:1210200059

ならしの地域福祉事業所ぬくもり

名 称	習志野市藤崎小学校地区放課後児童会 (種別：放課後児童健全育成事業)
代表者氏名	藤平 洋一 (ワーカーズコープ東関東地域福祉推進室長 ならしの地域福祉事業所長)
所在地	千葉県習志野市藤崎4丁目12番1号 藤崎小学校内 単独棟2階建て
電話番号	047-478-3348 (藤崎第1児童会)

理念・基本方針

- 共に生き、共に働く社会の創造を合言葉に、全ての子どもたちの命や人権が大切にされる社会を目指します。
- ①命の基礎である自然や食、地域の文化、人と人との関係を大切にします。
 - ②当事者主体と豊かな人間関係を広げます。
 - ③子どもの願いや課題を真ん中にすえた、生活まるごとの仕事おこし、まちづくりを目指します。
 - ④よい仕事を生み出す協同労働の団づくりを大切にします。
 - ⑤子どもの命を守り育む、貴重な財産を大切に継承します。

施設・事業所の特徴的な取組

1998年千葉県習志野市実籾に地域福祉事業所を開設し、高齢者介護サービス(通所介護・訪問介護・障がい者支援・配食・居宅介護支援)を総合的に展開。その後、子育て事業(学童保育・学習支援)に取り組み、複合的事業展開をしています。また、2016年より連合町会・子供会と協同による「子ども食堂・地域食堂」を習志野市実籾・東習志野地区にて開催。地域の困りごと・必要とされる事業を展開しております。

◎総合コメント①／事業所のアピールポイント（事業所の特に良いと思うポイント）

【組織】

理念・基本方針に「私たちが目指す社会連帯経営は、日々出会う地域に暮らす全ての人が地域課題に関わりを持ち、協同・連携をしながら地域再生・発展させます」とあるように、事業所として、地域支えあい協議会等で把握した福祉ニーズ等に基づいて、連合町会・子供会と共同による子ども食堂、地域食堂の展開及び街のよろず相談（困りごと相談）等を実施している。また、地域の大学生のアルバイトや採用を積極的に行い、学習広場として自分の苦手な科目やその日に学習した強化を自由に選びインストラクターと一緒に学習し、受験を目指す人向けに受験対策講座も毎週無料で且つ軽食付きで学習支援を行っている。

【サービス】

- ①法人の持つ「子育て事業」としての指針をベースに、サービスの質の向上を目指す懸命な努力が伺える。他の事業所との横の連携により事業運営ノウハウが共有出来ており、利用者である子どもや保護者に対し良い影響を与えている。
- ②子供たちは日常の中で要望や相談事が言える雰囲気にある。職員は子供一人ひとりの体調や情緒の観察を重視し、職員間で情報共有しながら見守っており、子供の意見の尊重と職員との信頼関係が築けるよう支援している。保護者とは、お迎え時の活動報告や、年に4回の面談機会を設け、またイベントでの協力を得るなどコミュニケーションが良好である。

◎総合コメント②／事業所の運営課題（事業所の今後良くしたいと思う点）

【組織】

新入職員研修で職員に求める基本的姿勢や意識を伝えており、資格取得に対しても研修や勤務調整等でサポートをしている。研修に参加した職員が主となり研修報告会にて全員が知識を共有している。職員一人ひとりの育成に向け、児童会の目標等は共有しているが一人ひとりの目標は設定していない。児童会の質の向上のためにも、目標シートを作成し全職員に対して目標を持たせて進捗状況や達成度の確認が出来る様にすることに期待したい。

【サービス】

- ①市との共同作業や情報共有は必然的要素であるが、運営法人として、リスクマネジメントや苦情解決への取り組み、個別育成支援計画等は現場主体で積極的な提案を行っていくことが望まれる。
- ②子供の権利擁護に関する取り組みについては、研修会に参加するなど知識の習得は出来ており、現場では個々に意識して対応が出来ていると思われる。しかし、職場倫理が具体的に明文化されておらず、職場倫理を明示し全職員が自覚して職務にあたるように組織的に取り組むことが望まれる。

◎評価機関振り返り

放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）については、平成30年から放課後児童クラブの質の確保のために第三者評価の導入が重要な視点とされ、令和3年度に放課後児童クラブ第三者基準ガイドラインが出来上がった。今回これを使っての最初の評価事業を実施するに際し、実情とそぐわない点も見受けられ多少苦慮するところもあった。また、事業者は自治体からの委託による児童クラブを運営しており、主体となる評価対象が自治体となる項目も一部にあり、評点をどのようにするのか判断に迷う点もあった。しかしながら事業者サイドの理解と協力により、評価結果を報告することが出来た。また、事業者と共に現状を分析して優位性と改善点を抽出し、更なるサービスの質の向上を目指すための課題を見出すことが出来た。評価に先駆けての利用者アンケート調査では、自治体独自の児童会アンケート調査と調査期間が重なり回答件数が予想を下回る結果となった。

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

	評価項目	評価者	評価の着眼点	評価コメント	評点	
1	理念、基本方針が確立・周知されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	理念、基本方針が放課後児童クラブ内の文書や広報媒体（パンフレット、ホームページ等）に記載されている。	法人の理念を明確にし、7つの原則と3つの視点を柱に運営され、パンフレットやホームページに掲載され施設内にも掲示している。会議の時には、7つの原則をリーダーに合わせ唱和し、理念の確認を行っている。保護者等に対しては、入会説明時にパンフレットを渡し、理念等について説明している。	a
		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	理念は、放課後児童クラブが実施する福祉サービスの内容や特性を踏まえた放課後児童クラブの使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	基本方針は、放課後児童クラブの理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、子どもや保護者等への周知が図られている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ	理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。		

I-2 経営状況の把握

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。					評点	
2	①事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。	毎月実績報告書を作成し評価書と共に本部へ報告している。また、活動報告書や職員シフトの実績及び予定、来所人数等を市役所へ毎月報告し、定期的コスト分析等を行っている。地域の各種福祉計画の策定動向等については、内容を把握し事業経営の維持や改善、中・長期の事業計画に反映させている。	a
		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	利用者数・利用者像等、放課後児童クラブのニーズ、潜在的利用者に関するデータを収集するなど、放課後児童クラブが位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	定期的に放課後児童クラブのコスト分析や放課後児童クラブ利用者の推移、利用率等の分析を行っている。		
3	②経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	経営環境や実施する福祉サービスの内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。	毎月実施される児童会会議で経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組について話し合った結果を、毎月実施される組合員等約40名の団会議（全体会議）の勉強会等で話し合っている。毎月役員会が実施され各事業部の本部長が出席し、3ヶ月毎に行われる全国所長会議でそれらの結果が報告される。会議内容と共に持ち帰られた結果を職員に周知し、全職員で共有している。	a
		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	経営状況や改善すべき課題について、役員（理事・監事等）間での共有がなされている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。		

I-3 事業計画の策定

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。				評点
4	①中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標（ビジョン）を明確にしている。	法人の中・長期経営戦略・目標を含む計画を策定してホームページに掲載している。法人本部と事業本部で子ども・子育てケアプロジェクト会議を実施し、学習支援プロジェクトで研修計画を作成して人材育成等の計画を行っている。3か年の中期計画に沿って単年度の事業部事業計画及び施設の事業計画、年度目標を策定している。3年で3%アップを目標として本部で指標を作成し、目標が達成できない場合は、経営改善計画が必要となっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。	
5	②中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 単年度の計画には、中・長期計画の内容を反映した単年度における事業内容が具体的に示されている。	3か年の中期計画に基づき事業本部でヒアリングを行い、指示書に従い収支予算及び実施計画を作成している。施設では、3か年の収支計画、人件費、各種達成率、業種別比較表等を作成し事業本部へ報告するが、計画との差にギャップがあると修正要請があり再度見直しをしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 単年度の事業計画は、実行可能な具体的な内容となっている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。				評点
6	①事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。	事業計画は事業別会議で問題点や要望を考慮して原案を作成し、団会議（全体会議）で内容を中期計画に照らし合わせながら詳細に修正し、事業所長を通して事業本部へ上程している。事業本部のヒアリング等を経て最終事業計画が策定されると、団会議でグラフ等を使用しながら予算、事業計画を詳細に全職員に対して説明し理解を深めている。上期が終了すると見直しを行い、下期へ反映させ第4クオーターで年間を振り返り次年度の事業計画等に反映している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ 事業計画が、職員に周知（会議や研修会における説明等）されており、理解を促すための取組を行っている。	
7	②事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 事業計画の主な内容が、子どもや保護者等に周知（配布、掲示、説明等）されている。	保護者等と一緒に出来る遠足や夏まつり等を含めた行事計画を年度当初にプリントで周知している。その際外国籍の方にも理解しやすいように、前回行った写真を多く活用している。また、教室内にも行事の写真を多く掲示し誰でも理解できるような工夫をしている。（当初は予定表にルビを振っていたが保護者から翻訳機を使用するので日本語でも大丈夫との意見もあった）入所説明会にも活用し、月例報告会では次月の予定表を配布し理解を促している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、子どもや保護者等がより理解しやすいような工夫を行っている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 事業計画については、子どもや保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。	

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。			評点
8	①放課後児童クラブの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	<input checked="" type="checkbox"/> ア 組織的にPDCAサイクルにもとづく放課後児童クラブの質の向上に関する取組を実施している。	法人として全国的に事業展開しているため、子育てプロジェクト会議を定期的に開催している。全国子育てミーティングへも年間数回支援員が参加し、それぞれ感想文を書き職員会議で内容を共有している。市役所へ提出する年間支援計画については、毎日1時間程度行う全員のミーティングの時に周知し、学期ごとに計画の見直しを全員で話し合い、評価した結果を振り返りとして市役所へ提出している。年度末には年間の振り返りを実施し次年度へ反映させている。
		<input checked="" type="checkbox"/> イ 放課後児童クラブの内容について組織的に評価（C: Check）を行う体制が整備されている。	
		<input type="checkbox"/> ウ 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的を受審している。	
		<input checked="" type="checkbox"/> エ □評価結果を分析・検討する場が、組織として位置づけられ実行されている。	
9	②評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	<input checked="" type="checkbox"/> ア 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。	毎年度市の児童会満足度調査が実施され、その結果を団会議（全体会議）の中で共有し、改善項目がある場合は全員で話し合いを行った上で改善を図っている。学期ごとに振り返りを行い、問題点や課題を浮き彫りにし年度末に最終的な振り返りを行い、次年度の計画に反映している。
		<input checked="" type="checkbox"/> イ 職員間で課題の共有化が図られている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ウ 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。	
		<input checked="" type="checkbox"/> エ 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> オ 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。	

II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

II-1-(1) 運営主体の責任が明確にされている。			評点
10	①運営主体は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/> ア 運営主体は、自らの放課後児童クラブの経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。	パンフレットには組織図が掲載され、事業部ごとの事務分掌等はパソコン内に収納されている。事務分掌等については役職員だけに周知され、一般職員はそれぞれ担当の事務分掌に沿った業務を行っている。平常時だけでなく事故や災害等が起きた場合の権限委任等が定まっておらず、有事の際は誰に従ってよいかわからないため、今後は、会議や研修の中で全職員に対して事務分掌等を周知させ、有事における権限委任等についても周知徹底することが望まれる。
		<input checked="" type="checkbox"/> イ 運営主体は、自らの役割と責任について、組織内の広報誌等に掲載し表明している。	
		<input type="checkbox"/> ウ 運営主体は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。	
		<input type="checkbox"/> エ 平常時のみならず、有事（災害、事故等）における運営主体の役割と責任について、責任者不在時の権限委任等を含め明確化されている。	
11	②遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/> ア 運営主体は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者（取引事業者、行政関係者等）との適正な関係を保持している。	法人の業務監査室による法令遵守プロジェクトが年に2~3回主催する法令遵守管理者会議に事業部の責任者として所長が参加している。法改正やBCP等についての説明会等も実施している。各事業所の監査については事業所間で監査をし合っている。個人情報保護規程や情報公開規程、運営規程等の研修会や勉強会については、所長やリーダーが参加するが一般職員の参加が不十分なため、今後は一般職員にも積極的に参加させ、全職員に理解してもらうことが望まれる。
		<input checked="" type="checkbox"/> イ 運営主体は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ウ 運営主体は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。	
		<input type="checkbox"/> エ 運営主体は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。	

II-1-(2) 運営主体のリーダーシップが発揮されている。			評点		
12	①放課後児童クラブの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	<input type="checkbox"/> ア	運営主体は、実施する放課後児童クラブの質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。	施設責任者としては現状分析や評価は特に行っていないが、職員は放課後児童クラブの質の向上を目指し、事業本部の年間研修計画や全国子育てプロジェクトが行う事例発表会に参加し、いずれも参加者は感想文を書き、内部研修の講師となって全職員に対して共有化を図っている。研修後はミニテストを行ったり振り返りノートを作成して、学童勉強会等のグループワークで課題を抽出するなど職員の意見を反映させている。市役所主催の千葉県放課後児童支援等資質向上研修にも参加し、資質の向上に努めている。	b
		<input type="checkbox"/> イ	運営主体は、放課後児童クラブの質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。		
		<input type="checkbox"/> ウ	運営主体は、放課後児童クラブの質の向上について組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。		
		<input checked="" type="checkbox"/> エ	運営主体は、放課後児童クラブの質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。		
		<input checked="" type="checkbox"/> オ	運営主体は、放課後児童クラブの質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。		
13	②経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	<input checked="" type="checkbox"/> ア	運営主体は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。	組織の理念や基本方針の実施に向けて、また、職員の働きやすい環境整備として勤務体系は2交代制としており、残業は殆どなく時給も他の業種等よりかなり高く設定しているため、労働条件が良く離職率は極めて低くなっている。法人内では、組織変更や人事異動により各事業や事業本部の強化を図っている。	b
		<input checked="" type="checkbox"/> イ	運営主体は、組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。		
		<input checked="" type="checkbox"/> ウ	運営主体は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、組織内に同様の意識を形成するための取組を行っている。		
		<input type="checkbox"/> エ	運営主体は、経営の改善や業務の実効性を高めるために組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。		

II-2 福祉人材の確保・育成

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。			評点		
14	①必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	<input checked="" type="checkbox"/> ア	必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。	職員の採用は資格者及び地域の大学生を主として採用している。支援員の必要人数は充分確保しているが、教員免許保持者を優先に支援員になるための講習会に積極的に参加させている。常勤職員と非常勤職員の比率は8対8で適正であると言える。春休みや夏休み等長期の、休日期間は地元の大学生をアルバイトとして採用している。障害者雇用については法人として積極的に行っている。支援員等必要な人員は確保されているため、短時間労働等働きやすい環境が整備され、職員の定着率は極めて良好である。	a
		<input checked="" type="checkbox"/> イ	放課後児童支援員の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。		
		<input checked="" type="checkbox"/> ウ	計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。		
		<input checked="" type="checkbox"/> エ	放課後児童クラブとして、効果的な福祉人材確保（採用活動等）を実施している。		
15	②総合的な人事管理が行われている。	<input type="checkbox"/> ア	放課後児童クラブの理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。	法人が労働者協同組合であるためなのか特に期待する職員像等は明確にしておらず、地域社会の主体者になる働き方を目指している。人事基準は契約時の労働条件通知書で明確化している。人事考課等による査定は無く賞与等は全員一律である。但し資格や責任者手当等の職務手当は有る。本部には給与等のステップアップの仕組みは有り、給与体制等も変わってくる。	b
		<input checked="" type="checkbox"/> イ	人事基準（採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準）が明確に定められ、職員等に周知されている。		
		<input checked="" type="checkbox"/> ウ	一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。		
		<input type="checkbox"/> エ	職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。		
		<input type="checkbox"/> オ	把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。		
		<input checked="" type="checkbox"/> カ	職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができています。		

II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。				評点	
16	①職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。	<p>職員の勤務時間は1日6時間で6日間の一週36時間勤務となっている。勤務体制はシフト管理により過重労働にならないように管理をしている。子育て等で働きたくても充分働けない方もいるが、残業のない時間を考慮した体制を取り有給休暇については、勤務シフト調整により取得しやすいワーク・ライフ・バランスに配慮した職場環境づくりがなされている。</p>	a
		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の悩み相談窓口を組織内に設置するなど、職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）に配慮した取組を行っている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	キ 改善策については、福祉人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	ク 福祉人材の確保、定着の観点から、組織の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。				評点	
17	①職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	<input type="checkbox"/>	ア 組織として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。	<p>新入職員研修で職員に求める基本的姿勢や意識を明示して伝えている。その他研修計画を作り、研修内容や対象者を明確にしている。補助員については、支援員の資格取得に向けて研修内容や勤務調整等のサポートを行っているが、組織として期待する職員像は特にないため、一人ひとりの目標は設定していないが児童会の目標等を共有している。面談は正職員のみ年度末に主に働き方や労働条件等について実施している。今後は、目標管理制度に関わる規程等や目標管理シートを作成し、全職員に対して目標を持たせ進捗状況の確認や達成度の確認が出来る様にすることが望まれる。</p>	c
		<input type="checkbox"/>	イ 個別面接を行う等組織の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標が設定されている。		
		<input type="checkbox"/>	ウ 職員一人ひとりの目標の設定は、目標項目、目標水準、目標期限が明確にされた適切なものとなっている。		
		<input type="checkbox"/>	エ 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。		
		<input type="checkbox"/>	オ 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末（期末）面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。		
18	②職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	<input type="checkbox"/>	ア 組織が目指す放課後児童クラブを実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。	<p>法人や事業本部で研修計画が策定され、特に支援員の資格取得のための研修には積極的に参加している。研修に参加した職員が主となり、研修報告会にて全員が知識を共有している。</p>	a
		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 現在実施している放課後児童クラブの内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、組織が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に計画の評価と見直しを行っている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。		

19	③職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。	職員一人ひとりの知識や専門的資格等に応じて研修に参加させている。例えば、本部研修の「子ども達を取り巻く社会の理解」で放課後児童健全育成事業、法的根拠や支援員の役割等を学び、講師として内部研修で全職員に対してフィードバック研修をしている。放課後児童支援員認定資格取得のために、県主催の子育て支援研修・放課後児童コース等外部研修に参加する場合は、出勤扱いとして極力参加できるように配慮している。	a
		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	さまざまな職員が参加して、事例検討を実施している。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ	職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。		

II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

評点

20	①実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成に関する基本姿勢を明文化している。	実習生制度は行っていないが、教員を目指す大学生の補助員としての採用を行っている。特に、春休み、夏休み、冬休み等長期の学校休業期間にアルバイトとして大学生の採用を行い、OJTを通して人材育成を行っている。	a
		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	実習生等の福祉サービスの専門職の教育・育成についてのマニュアルが整備されている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	指導者に対する研修を実施している。		
		<input type="checkbox"/>	オ	実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。		

II-3 運営の透明性の確保

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。

評点

21	①運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	<input type="checkbox"/>	ア	ホームページ等の活用により、放課後児童クラブの理念や基本方針、提供する育成支援の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。	子育て事業に関する方針や理念については、法人のホームページに掲載している。地域に向けて児童クラブの事業や財務等に関する情報は公表していないが、保護者等に対しては広報誌等を配布し、行事等の情報を写真入りで紹介している。今後は、第三者評価の結果等についても公表することを検討している。	b
		<input type="checkbox"/>	イ	放課後児童クラブにおける地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公表している。		
		<input type="checkbox"/>	ウ	第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公表している。		
		<input type="checkbox"/>	エ	放課後児童クラブの理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、放課後児童クラブの存在意義や役割を明確にするように努めている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	地域へ向けて、理念や基本方針、児童館で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。		
22	②公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	<input type="checkbox"/>	ア	放課後児童クラブにおける事務、経理、取引等に関するルール、職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。	事業所は法人の経理規程に基づき運営され、経営等に関わるチェック体制は事業所間で相互に監査を行っている。ガバナンスの強化や財務規律の確立に向けて外部の専門家による監査支援等を活用し、実情に即した経営改善の取り組みを行うことが望まれる。	b
		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	放課後児童クラブにおける事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。		
		<input type="checkbox"/>	ウ	放課後児童クラブの事業、財務について、外部の専門家による監査支援等を実施している。		
		<input type="checkbox"/>	エ	外部の専門家による監査支援等の結果や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。		

II-4 地域との交流、地域貢献

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。				評点
23	①放課後児童クラブと地域との交流を広げるための取組を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。	事業所は放課後児童クラブだけではなく他の子育て事業や高齢者介護サービス等の複合的事業を展開している。児童クラブとしてではなく事業所として連合町会・子供会と協同による「子ども食堂・地域食堂」を地域で開催し、地域の困りごとや必要とされる事業を展開している。児童クラブとしては、県教育委員会関係の地域学校協同本部運営及び子供教育協議会で地域とのかかわりを持っている。来年度から放課後児童教室を受託したので、子ども達と昔遊びや体験教室等を予定している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 様々な社会資源（自治会・町内会や民生委員・児童委員（主任児童委員）等の地域組織、放課後子供教室、児童館等）と連携している。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの個別の状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、必要があれば職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。	
		<input type="checkbox"/>	エ 放課後児童クラブへの理解を得るために、地域の人々と放課後児童クラブとの交流の機会を定期的に設けている。	
		<input type="checkbox"/>	オ 個々の利用者のニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。	
24	②ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	<input type="checkbox"/>	ア ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。	ボランティアを受け入れる体制はとってなく、地域の大学生のアルバイトや採用を積極的に行っている。来年度から放課後子供教室を受託しているため、地域の学校教育施設や体験教室等の学習などへの協力に関わる体制も考慮に入れている。また、社会福祉協議会へお願いし、保護者の関係者の紹介もあり中学生の吹奏楽が来てくれている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。	
		<input type="checkbox"/>	ウ ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。	
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。				評点
25	①放課後児童クラブとして必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	<input type="checkbox"/>	ア 当該地域の関係機関・団体について、個々の子どもや保護者等の状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。	子どもや保護者等に、より良い福祉サービスを提供するため、支援児童等は入会時に市役所や学校から情報を入手しアセスメントを実施している。市役所や学校以外の社会資源との情報交換が殆どないため、今後は必要な社会資源との連携を図り職員間で情報共有を図ることが望まれる。
		<input type="checkbox"/>	イ 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。	
		<input type="checkbox"/>	オ 家庭での虐待など権利侵害が疑われる子どもへの対応について、要保護児童対策地域協議会への参画、児童相談所など関係機関との連携が図られている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ 子どもの発達・生活の連続性を保障するために、情報交換や情報共有、職員同士の交流等により、学校や、保育所、幼稚園等との積極的な連携が図られている。	
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。				評点
26	①地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 放課後児童クラブが実施する事業や運営委員会の開催、関係機関・団体との連携、地域の各種会合への参加、地域住民との交流活動などを通じて、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。	事業所として、所長が習志野市地域支えあい協議会及び我が支えあいプロジェクトに参加し、地域の課題を協議し改善策を検討・実施している。法人の指針として、「暮らしと仕事、地域の願いを協同労働で実現する」を掲げ、子ども食堂や気軽に相談できる居場所づくり等の「みんなののうち」を実践し、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。

27	②地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	把握した福祉ニーズ等にもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。	事業所として、地域支え合い協議会等で把握した福祉ニーズ等に基づいて、子ども食堂、地域食堂の展開及びまちのよろず相談（困りごと相談）等を実施するに当たり毎年度予算化をしている。学習広場として自分の苦手な科目やその日に学習したい教科を自由に選びインストラクターと一緒に学習し、受験を目指す人向けに受験対策講座も毎週無料で且つ軽食付きで学習支援を行っている。	a
		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	把握した福祉ニーズ等にもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	多様な機関等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献している。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	放課後児童クラブが有する福祉サービスの提供に関するノウハウや専門的な情報を、地域に還元する取組を積極的に行っている。		
		<input type="checkbox"/>	オ	地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行っている。		

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ-1-(1) 子どもや保護者等を尊重する姿勢が明示されている。						評点
28	①子どもや保護者等を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	理念や基本方針に、子どもや保護者等を尊重した福祉サービスの実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	法人には「子育て事業」として協同労働の考え方を基本とした子育て5つの指針というものがあり、保護者会やお迎え時に行う個別座談会等を通じて、育成支援の質の向上を目指している。その内容は常に利用者である子どもや、その保護者に対しては、個人情報保護法に基づき、基本的人権を尊重しながら、共に生き、共に育ちあう社会を目指している。	a
		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもや保護者等を尊重した福祉サービスの提供に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもや保護者等を尊重した福祉サービス提供に関する基本姿勢が、個々の福祉サービスの標準的な実施方法等に反映されている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもや保護者等の尊重や基本的人権への配慮について、組織で勉強会・研修を実施している。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	子どもや保護者等の尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。		
29	②子どもや保護者等のプライバシー保護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもや保護者等のプライバシー保護について、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務等を明記した規程・マニュアル等が整備され、職員への研修によりその理解が図られている。	法人の毎月行う研修会の中で、マニュアルに基づいて職員には徹底を図っているが、市でも、保育全般の研修が実施される為、基本は其中で習得している。プライバシーとは個人情報の保護ではなく、個人の私生活上の自由を如何に尊重していくかという意味から、子どもや保護者からの信頼を得る為にも本質を更に理解されることが望まれる。	b
		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	規程・マニュアル等にもとづいて、プライバシーに配慮した福祉サービスが実施されている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守るよう設備等の工夫を行っている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもや保護者等にプライバシー保護に関する取組を周知している。		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。						評点
30	①利用希望者に対して放課後児童クラブ選択に必要な情報を積極的に提供している。	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	理念や基本方針、実施する育成支援の内容や放課後児童クラブの特性等を紹介した資料を、公共施設等の多くの人が入手できる場所に置いている。	市内の各小学校については「放課後児童会」に関する紹介資料はいつでも閲覧できる場所に設置してある。新規利用は市役所で受け付けており、市役所から要請があれば対応している。事前の見学については、特に問題は無いが、体験入所については市役所の方針により行っていない。	a
		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	組織を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	放課後児童クラブの利用希望者については、個別に丁寧な説明を実施している。		
		<input type="checkbox"/>	エ	見学、体験入所、一日利用等の希望に対応している。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	利用を希望する子どもや保護者等に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。		

31	②放課後児童クラブの利用開始・変更にあたり子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	<input type="checkbox"/>	ア	放課後児童クラブの利用開始・変更の内容に関する説明と同意にあたっては、保護者等の意向に配慮している。	保護者からの相談事については市役所が窓口となる為、一旦市役所で受付をして頂いた後、市役所との共同作業で対応していく。入退会についても、市役所は受付、審査を行った後に連絡をもらい、事業所にて手続きを進めていく。この時期新たに引越してこられる児童の申し込みも多く、利用開始前には保護者の方には分かりやすく説明するように心掛けている。	a
		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	放課後児童クラブの利用開始・変更時には、保護者等がわかりやすいように工夫した資料を用いて説明している。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	説明にあたっては、保護者等が理解しやすいような工夫や配慮を行っている。		
		<input type="checkbox"/>	エ	放課後児童クラブの利用開始・変更時には、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	特に配慮が必要な子どもとその保護者等への説明についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ	特に新1年生の環境変化に配慮して、利用の開始の前に、子どもや家庭の状況、保護者等のニーズ等について、把握確認し、放課後児童クラブでの過ごし方について十分に保護者等に分かりやすく説明し、情報交換をしている。		
Ⅲ-1-(3) 子どもや保護者等の満足度の向上に努めている。						評点
33	①放課後児童クラブの利用開始・変更にあたり子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもや保護者等の満足度に関する調査が定期的に行われている。	保護者の方にも参画して頂く改善活動として、市役所から毎年1回満足度調査が行われている。サービスの改善については、延長保育や弁当持参に関する事、クラス同士の交流などについて、難題が多くあり、市と一緒に、組織的に改善に向けた取り組み活動を行っている。	a
		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもや保護者等への個別の相談面接や聴取、懇談会が、子どもや保護者等の満足度を把握する目的で定期的に行われている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもや保護者等の満足度に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、子どもや保護者自身の参画のもとで検討会議の設置等行われている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。		
Ⅲ-1-(4) 子どもや保護者等が意見等を述べやすい体制が確保されている。						評点
34	①苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	苦情解決の体制（苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置）が整備されている。	法人本部内では、危機管理部を設置し、危機管理担当者の元、密室性の排除、社会性の確保に努めている。苦情解決においても客観性のある評価が出来る様、第三者委員を設置している。苦情相談受付はサービスの質の向上の一環として捉えており、保護者に対しても申し出やすい配慮を行う為に、日常的に気軽なコミュニケーションをとることを心掛けている。	a
		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を子どもや保護者等に配布し説明している。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	苦情記入カードの配布やアンケート（匿名）を実施するなど、子どもや保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	苦情内容については、受付と解決を図った記録が適切に保管されている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	苦情内容に関する検討内容や対応策については、子どもや保護者等に必ずフィードバックしている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ	苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出た子どもや保護者等に配慮したうえで、公表している。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	キ	苦情相談内容にもとづき、放課後児童クラブの質の向上に関わる取組が行われている。		
35	②子どもや保護者等が相談や意見を述べやすい環境を整備し、子どもや保護者等に周知している。	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもや保護者等が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選ぶことをわかりやすく説明した文書を作成している。	子どもや保護者が相談したり、意見を述べる相手については、運営事業所、市役所児童育成課何れかを自由に選ぶことが出来ることは、児童会入り口に掲示で告知されている。子どもに異変が感じられた時にその必要性が問われる事から、運営事業所からも周知を行っている。	a
		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもや保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	相談しやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。		

36	③子どもや保護者等からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	職員は、日々の福祉サービスの提供において、子どもや保護者等が相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。	保護者の相談として「立ち寄りカフェ」と称し3カ月に1回程度の頻度でお迎え時に支援員・保護者との座談会を実施している。意見箱は特に設置はしていないが、サービスの質の向上を目的とし、相談内容の中で、問題が感じられれば、組織的に迅速な対応を心掛けている。相談内容報告書として記録されているが、複数の職員自らが考えて行動しなければならぬ事から、敢えてマニュアルや手順書は作成されず、問題はミーティング内で議論、検討する事を心掛けている。	a
		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	意見箱の設置、アンケートの実施等、子どもや保護者等の意見を積極的に把握する取組を行っている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。		
		<input type="checkbox"/>	エ	職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	意見等にもとづき、放課後児童クラブの質の向上に関わる取組が行われている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ	対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。						評点
37	①安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	リスクマネジメントに関する責任者を明確化するなどの体制を整備している。	リスク管理については、日常的なヒヤリハットの記録内容を職員間での共有、改善を行い、法人としての体制は出来ているが、外的要因（不審者対応、帰宅途中の事故、自然災害等）によるリスク管理については市役所の指示方針に従い実施されている。長期休暇の対応は勿論の事、学校の休校時、天候急変時の対応として、登下校時間を変更する等、臨機応変な対応を行っている。	a
		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	事故発生時の対応と安全確保について責任、手順（マニュアル）等を明確にし、職員に周知している。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ	事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。		
38	②感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。	基本的な感染症対策も、子ども同士、職員同士等は、あらゆる可能性の中で厚生労働省の感染症マニュアルに沿って管理体制が構築されている。備品（アクリル板、消毒液等）は市から支給されており、感染者が発生した際には、プライバシー保護の元、市役所に報告することが義務付けられている。今後想定されるあらゆるケースに向けて、柔軟で臨機応変な対応が出来る様、対応マニュアルも定期的な見直しや修正が行われている。	a
		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知徹底している。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	感染症の予防策が適切に講じられている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	感染症の発生した場合には対応が適切に行われている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ	感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を定期的に見直している。		
39	③災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	災害時の対応体制が決められている。	リスク管理の中でも、自然災害への対策については、発生の規模や状況が想定しにくい。特に重要な点は、子ども、職員の安否確認が再優先されなければならない。その方法も発生現場として想定される現場の行動は、職員の指示、対応による子どもの行動を含め、あらゆる想定の下に行動の迷いが起きない様、訓練はほぼ毎月行われている。ライフラインが寸断され、帰宅困難になった時の為の非常食、備品等については今後更に充実が期待される。	b
		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類、福祉サービス提供を継続するために必要な対策を講じている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子ども及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	防災計画等を整備し、地元の行政をはじめ、学校、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等と連携するなど、体制をもって訓練を実施している。		
		<input type="checkbox"/>	オ	保護者等が災害により帰宅困難となった場合の対応方法が決められ、保護者等と共有されている。		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 育成支援の標準的な実施方法が確立している。				評点	
40	①育成支援について標準的な実施方法が文書化され育成支援が提供されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 標準的な実施方法が適切に文書化されている。	法人としては、「共に生き、共に働く社会の創造」を目指しており、共同の社会作りを行う活動の中での子育て指針として、5つの育成支援を掲げている。この内容はパンフレットとして印刷され、子ども、保護者に配布されており、具体的にその内容を伝えるミーティングを年2回開催し、理解を促している。具体的な育成支援計画については、事業の主体である市役所との連携の上で検討され、文書化されたものが保護者にも伝えられ、活動として実施されている。	a
		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 標準的な実施方法には、子どもの尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢が明示されている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。		
41	②標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 育成支援の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が組織で定められている。	法人の中には「子育てプロジェクト」が存在し法人内で児童会の運営を行っている事業所の所長レベルがメンバーとなり、月に1～2回現場責任者を集めて議論が行われている。内容的には保護者や子ども、さらには職員も含めて出てくる意見や提案に基づき、課題等を抽出しながら育成支援計画の評価・見直しを行い事業の改善に繋げている。	a
		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 育成支援の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に行われている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 検証・見直しにあたり、育成支援の計画の内容が必要に応じて反映されている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 検証・見直しにあたり、職員や子どもや保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。		
Ⅲ-2-(2) 子どもに対する育成支援の計画が策定されている。				評点	
42	①育成支援の計画を適切に策定している。	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 育成支援の計画策定の責任者を設置している。	児童会責任者が設置されており、利用者である子ども、保護者との話し合いの上で具体的なニーズを反映した育成支援計画が作成されている。市役所との連携活動ではあるが、現場責任者が運営主体となり、内容的には法人の子育て指針の基本的枠組みから外れない様に心掛けている。その実施についてもPDCAサイクルに則り、振り返りによる見直し後リトライされている。	a
		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 育成支援の計画には、子どもの具体的なニーズが明示されている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 育成支援の計画を策定するため、職員の合議と子どもの意向把握の手順を定めて実施している。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 育成支援の計画どおりに育成支援が行われていることを確認する仕組みが構築され、機能している。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ 障害のある子どもや特に配慮を必要とする子どもへの対応について検討し、積極かつ適切な育成支援の提供が行われている。		
43	②定期的に育成支援の計画の評価・見直しを行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 育成支援の計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、子どもの意向把握を行うための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。	評価・見直しについては定期的というよりも、ミーティングの中で気付きを話し合い、職員間ではそこで共有した後、即時改善実施が行われる。保護者の皆さんにはお便りで伝える方法を取っている。本来であれば保護者会で伝えるべきであるが、現状では新型コロナウイルス感染拡大防止の為、開催出来ていない。	a
		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 見直しによって変更した育成支援の計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 育成支援の計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、育成支援を十分に提供できていない内容（ニーズ）等、育成支援の質の向上に関わる課題等が明確にされている。		

Ⅲ-2-(3) 育成支援実施の記録が適切に行われている。				評点		
44	①子どもに関する育成支援実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもの身体状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって把握し記録している。	育成支援実施状況についてはその記録は適切に行われ、職員間で共有されていると同時に、いつでも閲覧できる場所に置かれている為、保護者の方でも、お迎え時等の時間で確認することも出来る。共有化については、情報内容にレベルに応じ、全てオープンに出来ないものもあり、状況に応じてコントロールされている。	a
		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	育成支援の計画にもとづく育成支援が実施されていることを記録により確認することができる。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	組織における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	情報共有を目的とした会議の定期的な開催等、部門横断での取組がなされている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ	事業所内で情報を共有する仕組みが整備されている。		
45	②子どもや保護者等に関する記録の管理体制が確立している。	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	個人情報保護規程等により、子どもや保護者等の記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。	個人情報の取り扱いについては細心の注意を払い管理を行っている。保護者にとっては子どもの入退室が最も気になることであることから、入退室情報については、保護者の携帯メールに発信されて確認できる仕組みを導入している。改正個人情報保護法への対応で電子データの閲覧については、ID、パスワードで特定のスタッフしか閲覧できない様なセキュリティが掛かっている。さらには、事業所内規程により保存、廃棄の対応も行われている。	a
		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	記録管理の責任者が設置されている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ	個人情報の取扱いについて、子どもや保護者等に説明している。		

A-1 育成支援

A-1- (1) 子どもが安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備				評点
A①	①子どもが安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境を整備している。	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 生活の場としての機能を満たすための設備及び備品等を備えている。	安全面に留意した設備の配置を行い、一人ひとりのロッカーと下駄箱が用意されている。4人が1班として座れる机を配置しており、静養室はアコーデオンカーテンで仕切られている。図書は随時新しいものを追加し、1Fと2Fの入れ替えも随時行っている。図書館からも貸し出しを受けて取り揃えている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 遊びを豊かにするために必要な遊具及び図書を備えている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 発達段階に応じた遊びと生活の環境を備えている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 体調が悪いときなどに静養できるスペースが確保されている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ 自習等の学習活動ができる環境を整えている。	
A-1- (2) 放課後児童クラブにおける育成支援				評点
A②	①子どもが放課後児童クラブに自ら進んで通い続けられるように援助している。	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 入所時や長期休み前等に、子どもが放課後児童クラブでの過ごし方を理解できるように工夫している。	児童会での過ごし方について入会時の説明会のしおりで説明し、夏休み前には過ごし方のしおりで知らせている。欠席の時は差し支えない範囲で理由を聞いている。お迎え時に保護者から児童会に行きたがらないとの相談を受けた時には、理由を把握し通い続けられるように援助している。期末には年間活動の様子をピックアップした10枚程度のアルバムを作って振り返ってもらっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもの様子と育成支援の内容を日常的かつ継続的に保護者に伝えている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 放課後児童クラブに通う事の必要性について、保護者と共に子どもの気持ちに寄り添いながら理解を促している。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保護者が年度途中の転居以外で退所を検討している際、その理由を把握し、対応を行っている。	
A③	②子どもの出欠席を把握し、適切に援助している。	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どもの出欠席について、保護者からの連絡であらかじめ確認している。	毎日「連絡帳」を持参してもらい「日付、体温、何時に帰宅か、一人か迎えか、出欠と欠席理由、質問や相談事など」を保護者が記入し、相談・質問への回答は職員が書いている。1F、2Fとも入退出管理システムを設置し、正確な出欠の把握に生かしている。また、一斉メールの配信を可能としており迅速な案内通知が出来るようにしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもの出欠席について、当日の変更についても確認できるようにしている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもが保護者からの連絡なく欠席したり来所が遅れたりした場合に、速やかに状況を把握し対応している。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもの所在が把握できない場合の対応を検討し、あらかじめ保護者へ伝えている。	
A-1- (3) 子ども一人ひとりと集団全体の生活を豊かにする育成支援				評点
A④	①子ども自身が見通しを持って主体的に過ごせるように援助している。	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 放課後児童クラブでの過ごし方は、できるだけ簡潔でわかりやすいものとし、子どもが理解できるようにしている。	児童会のタイムスケジュールは入会のしおりの中で記載されており、冬休み、春休みはお便りで、夏休みはしおりで過ごし方がわかるようになっている。子供たちはタイムスケジュールを知ったなかで活動をしている。人数の少ない土曜日などでは、子供の意見を取入れながら外遊びの時間を柔軟に運用している。毎月の目標は子供たちがポスターを制作し、それを掲示している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子ども一人ひとりにとって無理のない過ごし方となるよう配慮しながら、子ども全体に共通するおおまかな過ごし方や生活時間の区切りをつくっている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもと話し合いながら、遊びや生活の流れや内容を柔軟に活用して子どもが放課後の時間を主体的に過ごせるように援助している。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもが集団の中での過ごし方について自分自身で考えられるように工夫している。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ 放課後児童クラブにおける過ごし方や生活時間の区切り等を保護者に伝えている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ 学校が長期休みとなる期間には、夏休み等ならではの過ごし方や活動の工夫や配慮を行っている。	

A⑤	②日常生活に必要となる基本的な生活習慣を習得できるように援助している。	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	日常生活に必要となる基本的な生活習慣の内容を、子どもが理解できるように伝えている。	集団生活の中で皆が気持ち良く過ごせるために「ルールや約束事を守り楽しく過ごす」ことが身につくように、また規則正しい生活習慣が身に付けられるよう支援している。掃除や片付けなどはタイムスケジュールの中で子供たちが一緒に行っている。片付けをできない子がいる場合などでは、どうすれば上手く片付けができるかを子供たちで話し合ったりしている。	a
		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	健康や衛生に関すること（手洗いやうがい、衣服の着脱等）が身につくよう援助している。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	持ち物の管理や整理整頓等の生活習慣が身につくよう援助している。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもたちが集団で過ごすという特性を踏まえて、集団生活を維持するための活動を分担・協力することを理解できるよう工夫している。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	一人ひとりの発達状況に応じた援助とともに、取り組みやすい環境の工夫をしている。		
A⑥	③子どもが発達段階に応じた主体的な遊びや生活ができるように援助している。	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子ども一人ひとりについて、その発達の状況や養育環境の状況等を把握する必要性を理解している。	子ども一人ひとりの状況や体調、情緒等の把握は、日々の観察を重視し、顔つきや態度がいつもと様子が違う場合は直ぐに職員間で共有して見守り、状況に応じ保護者に連絡している。気分転換が必要な子供に気付けば他の子供から離してクールダウンさせ、体調が悪い場合は静養室で休ませている。毎日の1F、2Fでのブリーフィング時に、月曜日には合同ミーティングで職員間の情報共有を行っている。	a
		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	年齢や発達の状況、その時々の子の心身の状況に応じて、子ども自身が遊びを自由に選択できる環境を整えている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの来所時には、子どもが安心できるように迎え入れ、子ども一人ひとりの心身の状態を把握している。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	一人ひとりの子どもの普段の健康状態や心身の状態についての特徴を把握し、放課後児童支援員等の間でその情報を共有している。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	静養や気分転換が必要なことに気づいた時に、適宜対応できるようにしている。		
A⑦	④子ども同士の関係を豊かに作り出せるように援助している。	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子ども同士で遊びを作り出せるような時間や環境を整え、自発的に遊びを展開できるように援助している。	テーブル毎に異年齢混合の班を作り日常活動をしており、班内での仲間意識が育っている。班の編制・改編は年3回行い、多くの仲間と班として交流できるように配慮している。喧嘩やいじめが少ない児童会ではあるが、もめ事があった場合は当事者だけでなく、他の子供たちも含めた話し合いの場をもっている。12月には浦安市の放課後児童クラブの子供たちとオンラインで交流して楽しんだ。	a
		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	意見の対立やけんか等について、お互いの考え方の違いに気付くこと、葛藤の調整や感情の高ぶりを和らげること等ができるよう援助している。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの中でいじめの関係が生じないよう配慮している。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	問題が起きたときには早期対応に努め、保護者や関係機関と連携を取りながら適切に対応するよう努めている。		
A⑧	⑤子どもが自分の気持ちや意見を表現することができるように援助している。	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	放課後児童支援員等は子どもの情緒や子ども同士の関係にも配慮し、子どもの意見を尊重している。	子供たちの方から職員に、読みたい本や遊びたい遊具、やりたいゲームなどの要望が日々の中で言ってくる。子供たち同士で話し合い、意見をまとめて出してもらうケースや、特別なテーマがあった場合には「投書箱」を設けて意見を収集することもある。学校での出来事、嫌なことやケンカしたことの報告や相談を職員に気軽にする子供たちも多くおり、子供の意見の尊重と職員との信頼関係を築けるよう支援している。	a
		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが放課後児童支援員等に悩みや相談事も話せるような信頼関係を築くように努めている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	行事等を行う際は、子ども同士が意見を出し合う機会を設けている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもが運営に関わる行事等の活動を行う際には、子どもと保護者に活動の目的や大まかな内容を説明している。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	子どもが運営に関わる行事等の活動を行う際には、子ども自身が運営に関わる際の段取り等を伝えている。		

A-1-(4) 固有の援助を必要とする子どもへの適切な育成支援					評点	
A⑨	①障害のある子どもの受入れの考え方を理解したうえで、受入れに努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	障害のある子どもの利用機会の周知を行っている。	障害のある子どもの受入れについては「入会のしおり」に記載してある。現在、身体障害の子供はいないが、発達障害の児童が数名在籍している。保育所、幼稚園が作成、または保護者が記入した支援計画書を入会時に添付があり、それに基づいて支援を行っている。発達相談センターとは必要に応じて連携している。	a
		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	受入れの判断について、あらかじめ判断の基準や手続等を定めている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	障害のある子どもの受入れにあたっては、障害特性を理解した上で、子どもや保護者との面談の機会を持つなどして、子どもの健康状態、発達の状況、家庭の状況、保護者の意向等を個別に把握している。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	障害のある子どもの、個々の状況に応じた施設設備や育成支援の内容、職員体制等の環境の整備に関する配慮等を行っている。		
A⑩	②障害のある子どもの育成支援に当たった際の留意点を踏まえ、育成支援を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	障害のある子ども一人ひとりの状況や育成支援の内容を記録している。	要支援者にはサポートのために毎日担当を付け、状況を支援児日誌に記録し職員間で共有している。月毎に振り返りを行い、改善点などを話し合って次の計画作成に反映させている。必要に応じて発達支援センターや通級の先生との情報交換も行っている。	a
		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	記録した内容を、放課後児童支援員等の間で共有している。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	障害のある子どもの育成支援について事例検討する機会を持っている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	学校を含む他機関との連携を図っている。		
A⑪	③特に配慮を必要とする子どもへの対応に当たって、関係機関と連携して適切な支援を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	放課後児童支援員等は、子どもの家庭環境についても配慮し、家庭での養育等について特別の支援が必要な状況を把握した場合には、市町村や関係機関と連携して適切な支援につなげている。	子ども一人ひとりの状況や体調、情緒等は日々の観察で把握し、異変がある場合には職員間で共有している。保護者の様子がおかしいときや、児童に配慮すべき変化があったときは市役所と相互に連絡を取り合いながら適切に対応ができるようにしている。	a
		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	放課後児童クラブでの生活に特に配慮を必要とする子どもの支援に当たっては、保護者、市町村、関係機関と情報交換を行い、連携している。		
		<input type="checkbox"/>	ウ	児童虐待を発見した後の市町村等への通告の手順や、緊急性があると思われる場合の対応と手順についてあらかじめ定めている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	要保護児童対策地域協議会及び関係機関の構成員となるなど、関係機関と連携、協力できる体制を構築している。		
A-1-(5) 適切なおやつや食事の提供					評点	
A⑫	①放課後の時間帯におやつを適切に提供している。	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	放課後児童クラブとしてのおやつ役割を考慮して、おやつ提供時間や方法を工夫している。	普段は、遅い帰宅組が15時30分であることや小腹がすぐであろうと思われる16時に、土曜日や夏休みなど1日開所の時は15時30分におやつを提供している。お誕生日にはスペシャルおやつを提供しており、スペシャルおやつは皆で相談して決めている。スイカやアイスクリームなど季節のおやつも提供している。	a
		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもたちの状態等を考慮して、おやつの内容を工夫している。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	落ち着いた環境でおやつを楽しめるようにしている。		
A⑬	②食に伴う事故（食物アレルギー事故、窒息事故、食中毒等）を防止するための対応を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	食に伴う事故（食物アレルギー事故、窒息事故、食中毒等）の緊急時対応のマニュアルを整備し、全職員に周知している。	アレルギー対策として弁当やおやつ成分を確認し提供している。食物アレルギーなどは入会時に個別ヒヤリングして「健康カード」に記載している。入会は毎年新たに申し込むため「健康カード」も最新の情報として提出される。窒息事故が発生しないよう果物に種が入っていることや、一気に食べないよう注意している。食物アレルギーなどの知識習得には市役所の研修会に参加し、内容は職員間で共有している。	a
		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	すべての子どものアレルギーの有無を利用開始までに調査し、アレルギーのある子どもについては全職員で情報を共有している。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	食物アレルギーのある子どもへのおやつや食事の提供について、対応方針を定め、定期的に保護者と相談し決定して調整を行ったうえで、子ども・保護者と緊急時の対応を共有している。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食物アレルギー等の対応方法に関する基本的な事項について、定期的に訓練を実施している。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	窒息事故等がないよう、安全確認を徹底し、危機管理体制を整えている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ	食中毒防止のための点検項目を定めている。		

A-1-(6) 安全と衛生の確保				評点	
A ⑭	①子どもの安全を確保する取組を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 毎日子どもが来所する前までに、施設整備や遊具等の安全点検、整理整頓、清掃等を行っている。	設備の安全管理に関する点検は、市役所が実施している。現場では市役所の作成する安全対策マニュアルを利用し、保護者にも「しおり」と一緒に配布してある。職員はマニュアルの定期的な読み合わせや事故防止の予行演習、防災訓練、不審者訓練の実施をしている。不審者が侵入しないように基本的には建物玄関は施錠している。入会申請書に記入された経路での帰宅と、校庭を横切って来所するように指導している。お迎えに誰が来るのかは保護者が「連絡帳」に書いている。保護者との連絡は電話と一斉送信メールを利用している。	a
		<input type="checkbox"/>	イ 安全管理に関する点検について、点検項目、点検頻度、点検者を定め、定期的に点検を行っている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 放課後児童クラブにおける事故やケガの防止や発生時の対応についての方針を策定している。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもの来所経路や帰宅経路における安全確保について、計画及びマニュアルを作成し、保護者に周知している。		
		<input type="checkbox"/>	オ 地域組織や子どもに関わる関係機関等に、子どもの来所・帰宅の経路等を伝え、地域の人々の理解と協力を得られるようにしている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ 子どもの主な行動範囲を中心とした地域の中での子どもの行動や環境を把握している。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	キ 子どもの病気やケガの場合、保護者と連絡をとれるようにしている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	ク 事故やケガが発生した場合、その発生時刻や場所、その内容や対応の経過について正確な時刻の記述も含めて記録している。		
A ⑮	②衛生管理に関する取組を適切に行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設整備の衛生に関して、点検項目、点検頻度、点検者を定めている。	外から帰ってくる時は手洗い、うがいをしてから入室するよう指導している。おやつや弁当を食べる前にも手洗いを励行している。コロナの感染対策としてはマスクを外さないこと、1台のテーブルに座るのは3人までとし、食事の時はアクリル板を立て、食べる時は全員が一方向を向いて食べるようにしている。密になっているときは距離を保つよう注意している。	a
		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 衛生管理に関する点検を定期的に行っている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもと共に日常の衛生管理に努めている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもが調理や準備をする際の衛生管理を徹底して行っている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ 放課後児童支援員等の手洗いや爪切り、消毒等の衛生管理を徹底している。		

A-2 保護者・学校との連携

A-2-(1) 保護者との連携				評点	
A⑯	①保護者との協力関係を築いている。	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子育てのこと等について保護者が相談しやすい雰囲気づくりを心掛けている。	保護者参加型の夏祭りイベントなどは保護者アンケートから好評であることがうかがえる。実施にあたっては多くの保護者がボランティアとして協力してくれる。児童会での大掃除も職員と一緒に保護者が協力してくれる。以前はカフェとしてお茶の提供をしていたが、コロナ禍ではお菓子をお渡しする名目で保護者に来所いただき、児童会の写真を見ながら会話する機会を年4回設けている。	a
		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保護者が放課後児童クラブの活動や行事に参加、協力する機会を設けている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保護者会や保護者が参加する活動や行事の機会を工夫して、保護者同士の交流の場を設けている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保護者が放課後児童クラブの運営に協力する関係を築いている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ 宿題への対応について、保護者と共通の理解を持てるようにしている。		
A-2-(2) 学校との連携				評点	
A⑰	①子どもの生活の連続性を保障するため、学校との連携を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どもの生活の連続性を保障するための学校との情報交換や情報共有を日常的に図っている。	児童会との学校の窓口は教頭先生が担当している。毎月、学校便りと児童会便りを交換し、下校時間などの情報を得るようにしている。担任の先生が学校での子供の様子がおかしい時に様子を聞きに来てくれたときや、忘れ物を届けに来てくれたときに意見交換をするなど、学校との日常的な報告・連絡・相談を密にしている。授業参観にも出席していたがコロナ感染予防上から現在はできていない。	a
		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 毎日の子どもの下校時刻や学校の行事等の予定について、学校と情報交換し、連携している。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの来所経路や帰宅経路における緊急時の連絡方法について、学校と情報交換し、連携している。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもに関する情報を提供をしたり情報を得たりする際の、個人情報の保護や秘密の保持についてあらかじめ学校と取り決めている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ 子どもや家庭の状況に変化や問題が生じた際には、連絡調整ができる関係を学校と構築している。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ 学校との連携に関する担当者を置いている。		

A-3 子どもの権利擁護

A-3-(1) 子どもの権利擁護				評点	
A⑱	①子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	<input type="checkbox"/>	ア 職場倫理を具体的に明文化している。	放課後児童支援員認定資格の研修内容に、放課後児童健全育成事業の一般原則と権利擁護のカリキュラムがあり受講している。市役所の研修には参加し職員間で共有している。ただ、事業所として「職場倫理」を具体的に明文化し、虐待等の子供の心身に有害な影響を与える行為の禁止と早期発見についての規定を設けることが望まれる。	b
		<input type="checkbox"/>	イ 放課後児童クラブにおける虐待等の子どもの心身に有害な影響を与える行為の禁止と早期発見について、明確な規定を設けている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職場倫理を研修等で共有し、遵守状況を確認している。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員による子どもの権利の侵害や虐待とみなされる行為の禁止について研修等を実施し、職員間で共有している。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ 権利侵害の早期発見と対処のための具体的な取組を定めている。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ 子どもに影響のある事柄について、子どもが意見を述べ、参加することを保障している。		